

研究・教育上の利用者の立場から見た これからのスポーツ博物館

スポーツミュージアム連携・啓発事業 シンポジウム
來田享子（中京大学）

2015年10月10日

於 東京国際フォーラム G701会議室

秩父宮記念スポーツ博物館との出会い

◆ オリンピック・ムーブメントにおける女性の研究

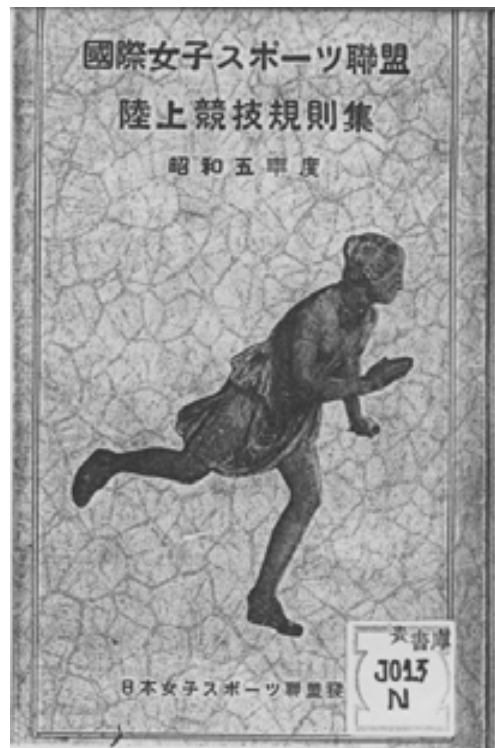
人見絹枝と日本女子スポーツ連盟



世界女子オリンピックと
国際女子スポーツ連盟の史料

◆ 史料がない！！！！

(消滅したとされる組織の史料を
探す困難さ)



(秩父宮記念スポーツ博物館・図書館所蔵)

活用することができていない資料

■ 参加賞（メダル）

象徴されているものの意味を文化や教育や社会状況の差異／共通性の文脈から読み取ること

同時代の「オリンピック」と「女子オリンピック」の参加メダルから分析できることもたくさんあるが、メダルのような資料はあまり活かされていない



（中京大学スポーツ博物館準備室所蔵）

活用することができていない資料

□ JOCサイト

コラム第19回「日本体操、屈辱のユニフォーム
～ロサンゼルスで受けた嘲笑」

...その大会に出場した角田不二夫選手が身に着けていたユニフォームが、スポーツ博物館に展示されている。
薄手で伸縮性のあるメリヤス地の体操着で「衣擦れの音」を出していたのである。...

(<http://www.joc.or.jp/column/olympiccolumn/goods/200801.html>)

選手たちの記憶を身体感覚
としてたどること



(秩父宮記念スポーツ博物館・図書館所蔵)

これからのスポーツミュージアムに 期待すること

◆3D化

質感・凹凸が再現され、一般的な展示では見られない
角度からとらえることができる

◆文書史料のデジタル・アーカイブ化

人やキーワード（パラダイム）によって時代・地域を
横断的に俯瞰する

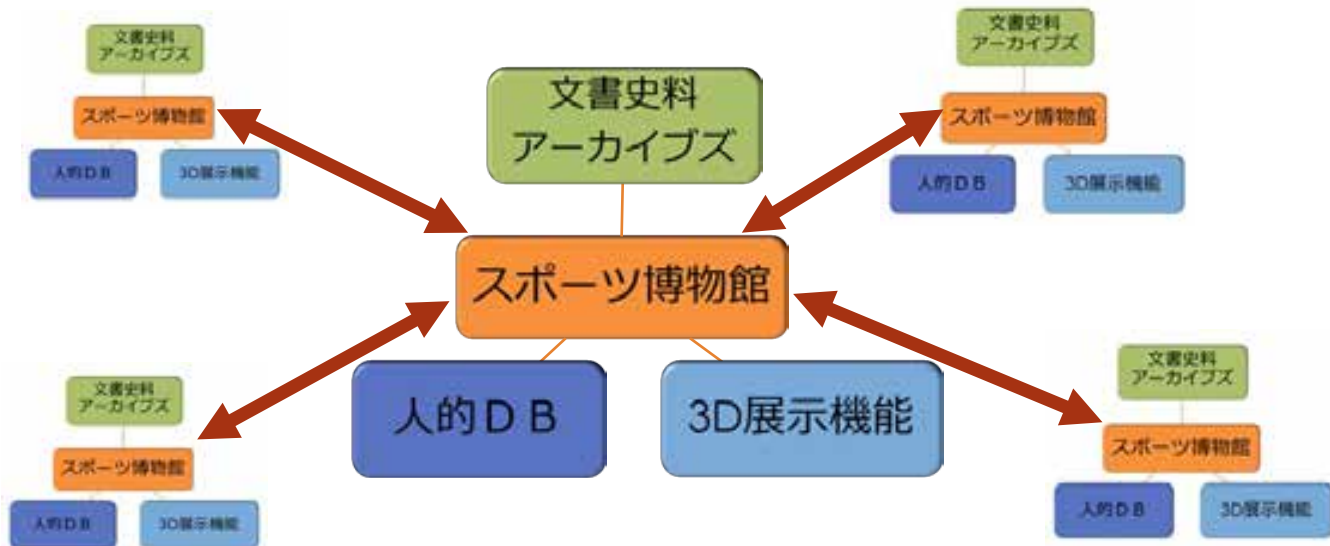
◆人的資源のDBとのリンク

教育的機能の拡張

◆所蔵資料目録の連携管理化

15年越し・ニースのフランス国立スポーツ博物館で入手
した史料

過去と現在を映す知の拠点（HUB）としての スポーツミュージアム



まとめ

- ◆スポーツは、それが醸成された社会を映す鏡であると同時に、人間の身体を通じて社会に影響を与え、変容を促すものでもある
- ◆このようなスポーツの歴史や現在は、可能な限り多角的に捉えた「時空間を越えた全体像」として、多様な人々の目に触れ、その多元的な価値が共有されることによって、社会の未来を展望するための「レガシー（遺産）」となり得る

具現化する存在としてのスポーツ・ミュージアム